

大阪府立布施北高等学校学校運営協議会議事録

校名	大阪府立布施北高等学校
校長名	村田 知子

開催日時	令和5年2月4日（土） 9:30～11:00
開催場所	大阪府立布施北高等学校 展開1教室
出席者（委員）	中西 進泰（会長）、松下 寛史（副会長）、菊地 栄治（委員）、 塚本 佳秀（委員）、浅岡 美和（委員）
出席者（学校）	校長、教頭2名、事務長、首席2名、教諭1名、実習教員1名
協議資料	・令和4年度学校経営計画 ・学校教育自己診断結果 等

議題等（次第順）	
○ 令和5年度学校経営計画について（令和4年度学校経営計画の評価について） ○ 学校教育自己診断の結果について	
協議内容・承認事項等（意見の概要）	
○ 「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」について ≪委員より≫ ・布施北のアイデンティティーとして、『デュアルシステム』の記述を「スクール・ミッション」に記載したのは評価する。今後、コミュニティースクールとして地域の意見も「スクール・ポリシー」に反映させてほしい。 ○ 令和5年度学校経営計画について（令和4年度学校経営計画の評価について） ≪校長より≫【説明】 ≪委員より≫ ・「これをやったから、こういうものがある」というわけではなく、これまでやってきたことが評価につながったという感じ。長年、布施北と関わってきたが、生徒が明るく、他の人を尊重できている。校内研修で生徒が真面目に発表できるのも、生徒同士でしっかりと話を聞けるから。 ・令和5年度分に追記された「多様性」や「安心して学ぶ場」などは、小学校の先生も評価している。小学校段階から布施北を意識しているのだと思った。長い時間集中できない生徒が、短い時間で繰り返し学ぶことで良くなってきている。布施北が取り組んでいることは、大事な方向に進んでいると思う。 ・学校間の連携がいい。小中学校の児童・生徒が布施北のお兄さん・お姉さんを見て、布施北に行きたいとなる。地元で育って、働いて、地域貢献につながる。生徒評価が全体的に上がっているのは先生方ががんばっているからだと思う。 ・今年度の働き方改革が進み、時間外勤務が減っている。先生方の取組みが生徒たちの評価につながっており、先生方も報われている。 ○ 学校教育自己診断の結果について（エンパワメントスクール3年次アンケート、総合学科卒業生アンケート含む） ≪首席より≫【説明】 ≪委員より≫ ・デュアルに関しては90%以上が肯定しており、いいなと思った。ただ、生徒から見た教員同士の関係と先生から見た教員間の関係に差がある。保護者の回答率の高さはPTA活動も評価できる。デュアル関係の項目が上がっている。アイデンティティーを大切にしないといけない。 ・校長の考えは先生方に伝わる。校長と教員の間に立つ人がどういうパイプ役となるか非常に大事なこと。 ・質問項目で、デュアル実習に行った生徒が母数か、そうでない生徒も含めた数が母数かで、数値が変わる項目もあるので、該当者のみに答えさせる項目にするなどが必要。職場見学とデュアルのダブルバーレルとなっている項目もある。他校との差別化としてデュアルを大切にしてほしい。 ・学び直しは他校でも行っているが、デュアルは布施北の特色。 ・相談室や生徒の話を聞く雰囲気づくりは評価できる。 ・意見が反映されていないと思う先生が多いのは課題。 ・どの先生がどの先生のことをよく知っているかなどを把握したうえで、必要な声掛けをすることも大切。 ・12月15日の（デュアル実習校内研修での）発表会がよかった。生徒同士が言葉のキャッチボールができていた。どのような取り組みをしたら、それにつながるか考えるのもよいと思った。	

次回の会議日程	
日 時	令和5年6・7月頃予定
会 場	大阪府立布施北高等学校